ジャパンサーチとの連携について

令和7年8月25日　国立国会図書館 電子情報部
電子情報企画課 連携協力係
服部 有希

この資料は、ロゴを除き、クリエイティブ・コモンズ表示4.0国際ライセンス
の下に提供されています。

JAPAN SEARCH

1	ジャパンサーチとは
2	連携方針と連携手続
3	メタデータ連携の仕組みについて
4	二次利用条件の設定について

1　ジャパンサーチとは

ジャパンサーチとは

デジタルアーカイブの検索・閲覧・活用のプラットフォーム

さまざまな分野のデジタルアーカイブと連携

我が国の多様なコンテンツの**メタデータをまとめて検索・閲覧・活用**できます。

国全体の取組

◇ 政府の**「知的財産推進計画」**に掲げられている**国の取組**

◇ 活動方針：「ジャパンサーチアクションプラン2021-2025」▶「デジタルアーカイブ戦略2026-2030」

◇ 運営主体：デジタルアーカイブ推進に関する検討会（事務局：内閣府知的財産戦略推進事務局）

◇ システム開発運用・連携実務担当：国立国会図書館

ジャパンサーチの連携状況

JAPAN SEARCH

連携機関（つなぎ役）

60 機関

連携データベース

284 DB

メタデータ数

3,150 万件

データ提供機関は**2,000**機関以上

2025年8月1日時点

JAPAN SEARCH

ジャパンサーチの機能

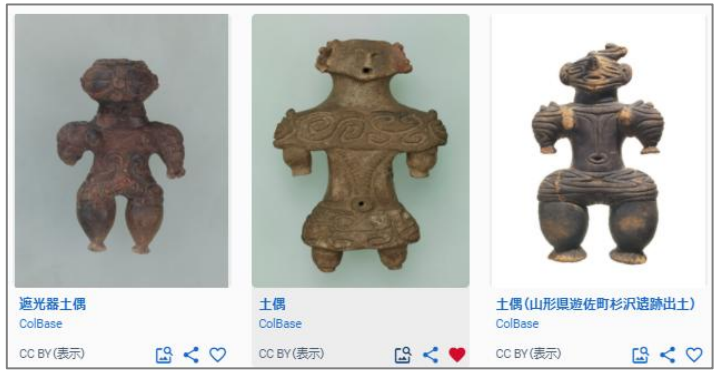
JAPAN SEARCH

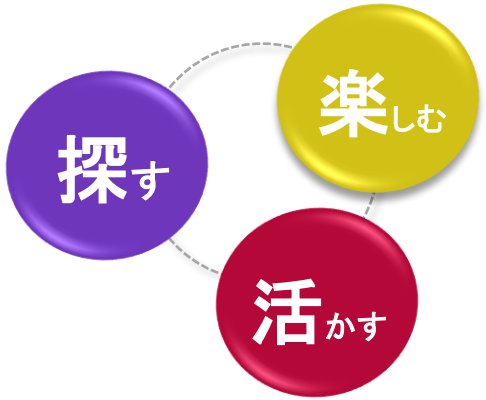
①分野の特性を活かした検索機能

横断検索

テーマ別検索

画像検索　※類似の画像を検索可能





②クリックするだけで楽しめる機能 多様なコンテンツの紹介

- 様々なテーマに関する**「ギャラリー」**を提供

（テーマ例：富士山、猫、紅葉狩り、刀剣、和食、北斎etc.）

③利活用促進の基盤となる利活用機能

- お気に入りを**マイノート**に登録し、**マイギャラリー**で編集可能
- マイノートの共同編集ができる**マイギャラリー**、**ワークスペース**
- 任意のメンバーから成る**プロジェクト**で、ジャパンサーチの全機能を体験
- ジャパンサーチが集約したメタデータを**API**（外部提供インタフェース）で提供

連携機関によるギャラリー作成事例

東京大学附属図書館

特別展示「華ひらく書物文化　俳諧･戯作の世界」

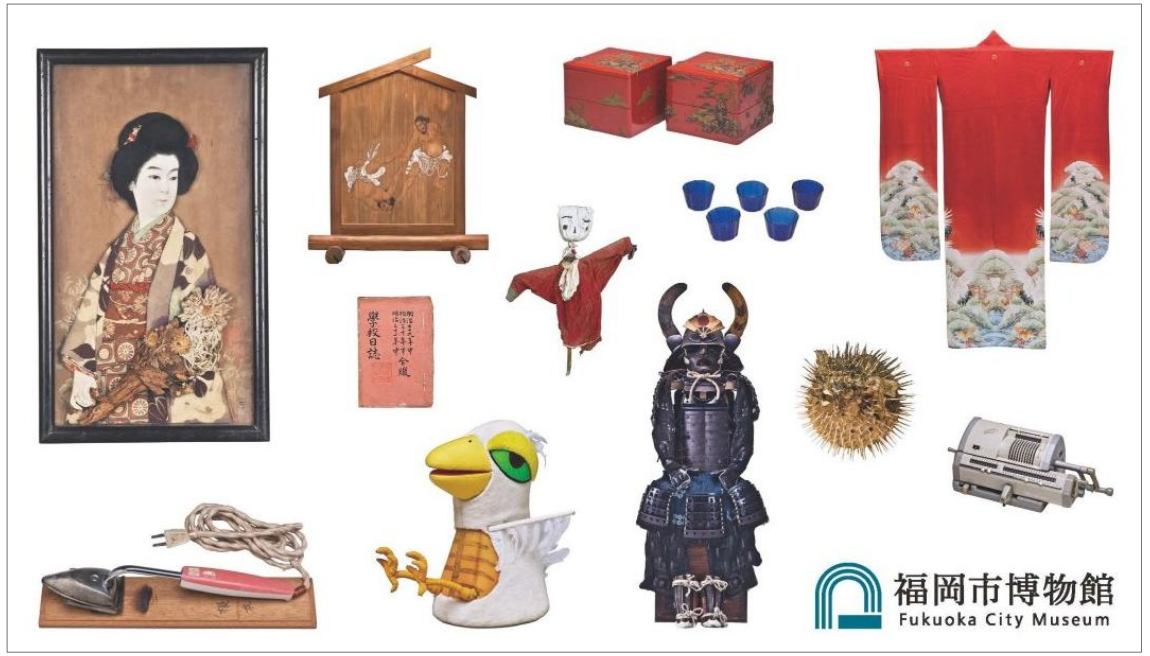
https://jpsearch.go.jp/gallery/utokyo-edo2024

東京大学総合図書館所蔵。
この画像の二次利用については東京大学総合図書館にお問い合わせください。

福岡市博物館

「第36回新収蔵品展　ふくおかの歴史とくらし」

https://jpsearch.go.jp/gallery/FCM-0KVrk908E0W



ギャラリー一覧ページはこちら　https://jpsearch.go.jp/gallery

2　連携方針と連携手続

詳細はジャパンサーチを参照
「連携をご希望の機関の方へ」（https://jpsearch.go.jp/cooperation）
「連携に関するQ&A」（https://jpsearch.go.jp/cooperation/faq）

ジャパンサーチの連携方針

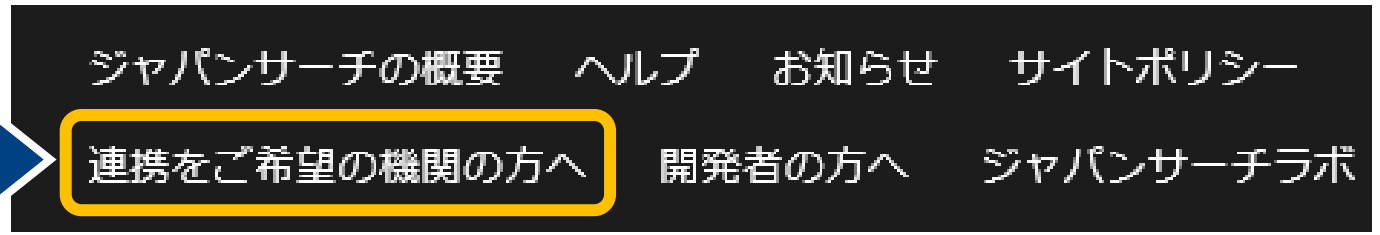
コレクションポリシー（連携方針）

ジャパンサーチの連携方針を定めたもの（2025年1月公開）

連携対象機関、デジタルアーカイブの要件、連携手続、連携機関の役割　etc.

詳細は ジャパンサーチトップページ下部

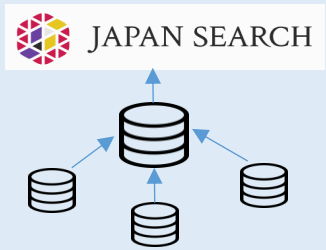
「連携をご希望の機関の方へ」から。



コレクションポリシー：「つなぎ役」経由の連携

分野・地域コミュニティの「つなぎ役」経由の連携が原則

①同分野・地域内のアーカイブ機関のデータベースをまとめるポータルを構築



（事例）
- 文化遺産オンライン（文化庁）
- S-Net（国立科学博物館）
- NDLサーチ（国立国会図書館）
- 北海道デジタルミュージアム

②同じ組織内の複数機関のデータを集約したデータベースを構築

（事例）
- ColBase（国立文化財機構）
- nihuBridge（人間文化研究機構）
- 国立美術館所蔵作品総合目録検索システム（国立美術館）

③同じ分野・テーマの資料を様々な団体又は個人から集約したデータベースを構築

（事例）
- にいがた地域映像アーカイブデータベース（新潟大学）
- ARC浮世絵ポータルデータベース
- 魚類写真資料データベース（国立科学博物館、生命の星・地球博物館）

④データベースをもたないが、つなぎ役としてアーカイブ機関との連携窓口となり、情報提供、メタデータ標準化等をサポート

（事例）
- 全国美術館会議経由で、愛知県美術館、東京富士美術館当と連携

（つなぎ役不在の場合）直接連携

つなぎ役が明確ではない分野・地域は、
つなぎ役と同等の連携方針を満たす機関との直接連携を検討

・公益に資するため、特定の分野・地域において幅広いコンテンツを有すること

・唯一性・独自性の高いコンテンツ群を有すること　など

JAPAN SEARCH

ジャパンサーチとの連携方法

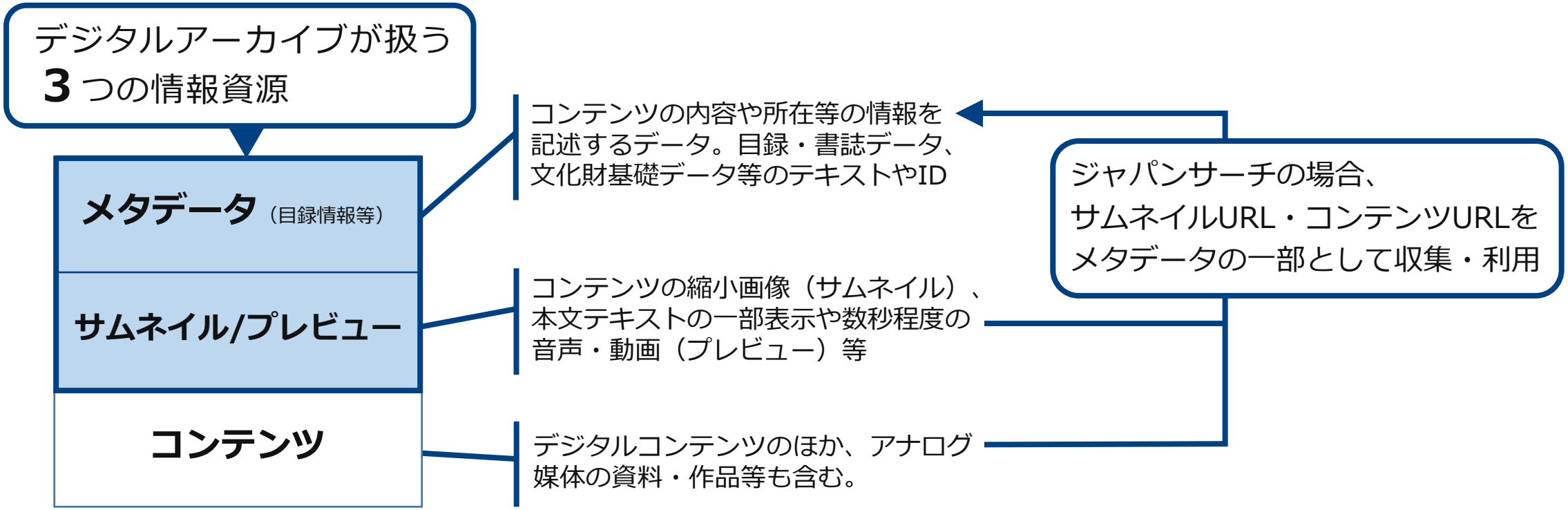
5つのステップ

- ① ジャパンサーチへの問い合わせ
- ② デジタルアーカイブ推進に関する検討会での承認
- ③ 文書の取り交わし
- ④ 登録作業
- ⑤ 連携完了

３ メタデータ連携の仕組みについて

ジャパンサーチとの連携　メタデータ連携

メタデータと**サムネイル**をオープンに流通させることで、
コンテンツの活用が促進される。



（出典）『「デジタルアーカイブ活動」のためのガイドライン』（デジタルアーカイブジャパン推進委員会実務者検討委員会、令和5年9月）
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/pdf/guideline_2023.pdf を一部加工

JAPAN SEARCH

メタデータ連携と活用までの流れ

つなぎ役・アーカイブ機関

メタデータ

連携時のメタデータフォーマット：
データ提供者が使用している
<u>そのままの形でOK</u>

多様なファイル形式に対応
（TSV/CSV、エクセル、JSON、XML）

データ登録

連携方式：
①管理画面でファイルのアップロード
②ファイルをWebに掲載
（週次/月次の設定も可能）
③OAI-PMH（大量かつ高頻度の場合）

ジャパンサーチ

メタデータ

共通項目ラベル※1の付与

ジャパンサーチ利活用スキーマ※2に変換
（利活用のための分野共通メタデータモデル）

データ利用

※1：名称/タイトル、時間、場所、所蔵機関、URL等の分野横断で共通となりうる項目のみ
※2：分野横断して利活用可能とするジャパンサーチにおけるメタデータの標準形式。

利用者・活用者

検索
(横断検索、テーマ別検索、画像検索)

API
(SPARQLエンドポイント、簡易Web API)

**マイノート・
マイサーチ・
ギャラリー・
ワークスペース・
プロジェクト**

４　二次利用条件の設定について

ジャパンサーチにおける二次利用条件の設定と表示方法

ジャパンサーチ管理画面

データベース基本情報の設定項目

項　目	記　入　例
メタデータの権利表示	CC0 **メタデータはCC0を推奨**
サムネイル画像の権利表示	東京富士美術館収蔵品データベース掲載のデジタル画像の原作品は、著作権保護期間が満了したパブリックドメイン（PDM）です。本デジタル画像作成により当館が有し得る著作権等の権利についてはCC0を適用します。
コンテンツの権利区分	CC0 **15種類から選択が可能**
コンテンツの権利表示	東京富士美術館収蔵品データベース掲載のデジタル画像の原作品は、著作権保護期間が満了したパブリックドメイン（PDM）です。本デジタル画像作成により当館が有し得る著作権等の権利についてはCC0を適用します。 **連携機関が公開している利用条件ページがあれば、そこへのリンクも可能**

データベース紹介ページ

東京富士美術館収蔵品データベース

メタデータの利用条件（API取得可能）
CC0

サムネイル画像の利用条件
東京富士美術館収蔵品データベース掲載のデジタル画像の原作品は、著作権保護期間が満了したパブリックドメイン（PDM）です。本デジタル画像作成により当館が有し得る著作権等の権利については<u>CC0</u>を適用します。

デジタルコンテンツの利用条件
自由に利用可

CC0

教育	非商用	商用
○	○	○

資料固有の条件
東京富士美術館収蔵品データベース掲載のデジタル画像の原作品は、著作権保護期間が満了したパブリックドメイン（PDM）です。本デジタル画像作成により当館が有し得る著作権等の権利についてはCC0を適用します。

コンテンツ詳細画面

東海道五拾三次之内　舞坂 今切真景

Fifty-three Stations on the Tokaido: True Scene of Imagire at Maisaka

収録元データベースで開く

とうかいどうごじゅうさんつぎのうち　まいさか　いまぎれしんけい

美術　文化財　絵画・版画　所蔵・所在:東京富士美術館　収録:東京富士美術館収蔵品データベース

画像検索

デジタルコンテンツの利用条件
自由に利用可

CC0

教育	非商用	商用
○	○	○

資料固有の条件
東京富士美術館収蔵品データベース掲載のデジタル画像の原作品は、著作権保護期間が満了したパブリックドメイン（PDM）です。本デジタル画像作成により当館が有し得る著作権等の権利についてはCC0を適用します。

JAPAN SEARCH

デジタルコンテンツの権利区分と「早見表」の対応関係

		教育利用	非商用利用	商用利用
PDツール	CC0	○	○	○
	PDM（パブリックドメインマーク）	○	○	○
クリエイティブコモンズライセンス	CC BY（表示）	○	○	○
	CC BY-SA（表示-継承）	○	○	○
	CC BY-ND（表示-改変禁止）	△	△	△
	CC BY-NC（表示-非営利）	○	○	×
	CC BY-NC-SA（表示-非営利-継承）	○	○	×
	CC BY-NC-ND（表示-非営利-改変禁止）	△	△	×
Rights Statements	著作権あり	×	×	×
	著作権あり－教育目的の利用可	○	△	×
	著作権なし－契約による制限あり	△	△	△
	著作権なし－他の法的制限あり	△	△	△
	著作権未評価	×	×	×
その他	著作権未決定－裁定制度利用著作物	×	×	×
	該当なし	－	－	－

○＝利用可、△＝条件付き利用可、×無断利用不可（要許諾）

早見表の例

詳細：ジャパンサーチ「デジタルコンテンツの二次利用条件表示について」のページを参照
https://jpsearch.go.jp/policy/available-rights-statements

連携をご希望の皆様へ（お願い）

1. メタデータの整備

「名称/タイトル」「ID」のみ必須ですが、次の点にもご留意ください。

- ✓ **IDは永続的であり、システムリプレース等の際に変更されないもの**にすること
- ✓ ジャパンサーチからとぶリンク先ページの「固定URL」
- ✓ **「サムネイル画像URL」「コンテンツURL」**
- ✓ （可能なら）名称/タイトルのローマ字（英語）

参照：「**ジャパンサーチとの連携方法【簡易版】**」https://jpsearch.go.jp/static/pdf/cooperation/renkei_simple_20201124.pdf

2. 二次利用条件の設定

メタデータ、サムネイル、デジタルコンテンツの利用条件の設定及び公開についてご検討ください。

- ✓ **ジャパンサーチでは、メタデータは「原則CC0」**
  - ※国際的流通を意識（Europeanaと同レベル）
    - ・著作物性のあるもののみCC BYでも可。民間機関のメタデータなど原則に対応できない場合はデータベースごとに利用条件が分かるよう設定可能
    - ・ユーザには、CC0であっても出典等の情報を明記するよう、サイトポリシーでお願いしています
- ✓ **サムネイルはCC0/CC BY相当に**
- ✓ **デジタルコンテンツのウェブ公開を増やし、可能ならCC0/CC BY相当に**
- ✓ **詳細な利用条件を説明するページがあれば、ジャパンサーチからそこへのリンクも張れます。**

各機関のご判断により、ウェブ公開有無や利用条件の設定ができますが、可能な範囲で、
オープンな利活用にご協力をお願いします。

デジタルアーカイブで困ったことがあれば、

「コンテンツの二次利用条件をどう設定すればよいか分からない……」
「コンテンツをもっと活用してもらいたい…… 」
「デジタルアーカイブをゼロからはじめたい…… 」

過去のガイドライン

1.「デジタルアーカイブの構築・共有・活用ガイドライン」（平成29年4月）
2.「デジタルアーカイブにおける望ましい二次利用条件表示の在り方について（2019年版）」
3.「デジタルアーカイブのための長期保存ガイドライン（2020年版）」

▶

2023年9月公開

「デジタルアーカイブ活動」のためのガイドライン

▶内閣府知的財産戦略推進事務局HP（PDF）
デジタルアーカイブジャパン推進委員会及び実務者検討委員会
https://www.kantei.go.jp/jp/singi/titeki2/digitalarchive_suisiniinkai/index.html

▶ウェブ版（ジャパンサーチHP）は以下のURLからご覧ください。
https://jpsearch.go.jp/guideline/

ジャパンサーチ公式YouTubeチャンネル

連携を考えている機関の方へ

https://www.youtube.com/playlist?list=PL4KTWzfKoHLHsB01p8N0Rek8jKhx3WOWS

連携に関する解説動画などを用意しています。

連携方法

【アーカイブ機関向け】ジャパンサーチと連携するメリットと手順を解説！

【アーカイブ機関向け】徹底解説！
ジャパンサーチへのメタデータ登録手順

連携機関インタビュー

【連携機関インタビュー①】
ジャパンサーチとの連携（メリット編）

【連携機関インタビュー②】
ジャパンサーチとの連携（手続フロー編）